

2022年1～2月掲載分

2022年3～4月掲載分

習志野 大慈弥 爽子

退く闇に光を満たしゆく初日  
七種の七色の香を囃しけり  
早梅のただ一輪といふ光  
節分の闇星屑を散りばめる  
日めくりの一枚に春立ちにけり

八王子 石井 蓉子

月丸く残り朝冬至の日  
枇杷の花白き朝日の中にあり  
ケーキ食む一人ぼっちのクリスマス  
山際に夕日の落ちて山眠る  
言葉なく行き交う人の息白し

新宿区 壺守 景子

寝返って蒲団に隙間生まれけり  
雨の打つ幹黒々として大冬木  
足跡をつけたきものや霜柱  
初霜や汚れる犬と遊びをり  
瘤あれば越えるものよとスキーヤー

町田 小森 まさひこ

元日の富士を射りたる朝の日矢  
東の空に生まれし初明り  
独楽を打つ昔の枝は出でてこぬ  
盆梅の知る十年間の我が家  
先生は九十歳や福寿草

2022年5～6月掲載分

2022年7～8月掲載分

2022年9～10月掲載分

2022年11～12月掲載分